

第35回国際交流助成応募要領

国際交流助成応募は、本要領によって行われますから、所定の申請書に正確に記載してください。

1. 助成の対象領域

化学の領域における基礎研究または応用研究に関する国際交流に貢献することが期待される場所の、次の部門を対象とします。

- (1) 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められて招聘される者に対する助成。ただし、国公費による出張者は除く。
- (2) 国内で行われる国際研究集会への助成。
- (3) 国外で行われる国際研究集会への助成。

2. 応募者の資格

応募者は、次の機関に所属する常勤の者としてします。ただし、海外研究者の場合を除きます。

- ① 大学、高等専門学校。
- ② 国公立等の試験研究機関。
- ③ その他本財団で認めた者。

3. 助成の金額

各助成対象範囲を定め、次の金額を基準とします。

- (1) 海外出張の場合：渡航運賃(航空運賃)の助成を対象とし、1件30万円までを限度として、金額は地域により異なります。
- (2) 国内集会の場合：会場借料、印刷費、国内滞在費等の助成を対象とし、1件50万円までを限度とします。
- (3) 国外集会の場合：会場借料、印刷費、招聘費等の助成を対象とし、1件50万円までを限度とします。

4. 応募者の推薦

応募は、すべて推薦によるものとします。この場合の推薦者は本財団役員および評議員、又は本財団で適当と認めた化学系学会等に限りします。

ただし、選考委員該当者は除かれます。

5. 助成の基準

開催される国際研究集会は、いずれも国際的に権威ある機関または団体が主催す

るものであって、この要領第1項に掲げる研究対象領域であることとします。

6. 対象期間

助成の対象となる事業は、次の期間内に実施されるものとします。

「平成25年4月1日から平成26年3月31日までの間」

7. 助成対象者の選定

対象者の選定は、選考委員会において厳正な審査を経て、その採否を決定します。なお、採択後申請時と異なる事態を生じた場合は、採択が取り消されますから十分注意してください。

8. 終了報告

海外から帰国、または**国際研究集会終了後**、いずれも「**2ヵ月以内**」に、所定の**報告書を提出**しなければなりません。

なお国際研究集会の場合、**会議配布の印刷物に、本財団の助成があった旨記載し、該当の印刷物1部**を本財団宛速やかに提出してください。

9. 申請書の作成

所定の申請書に必要事項を正確に記載し、会議内容がわかる資料、説明書および会議出席申込書または招待状の写しを添えて、必ず「**推薦者を經由**」して提出してください。提出書類は**1部**とします。なお、申請書を「手書き」される場合は、1ページ目の「申請者」欄への記載は、はっきりとわかるように記載をお願いします。

申請書への文章の貼り付けは認められませんので、ファイルをご希望の方は、次のアドレスまでご請求ください。メールアドレス：tok-foundation@tok.co.jp

10. 推薦書（申請書）の提出

①推薦者が化学系学会の場合

学会推薦の場合は、推薦を希望する学会の提出期限までに学会宛に申請書を郵送してください。学会で推薦が決まった申請書は、下記の提出期間内に当財団へ郵送されます。

②推薦者が役員・評議員推薦の場合

下記の募集期間は、推薦者から受付期間ですので、注意してください。

③推薦者からの提出期間及び宛先

期 間：平成25年1月7日（月）～同年1月28日（月）

提出先：〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地

公益財団法人東京応化科学技術振興財団 宛

上記期間以外の受付は致しかねますから、**期間は厳守願います。**

以 上